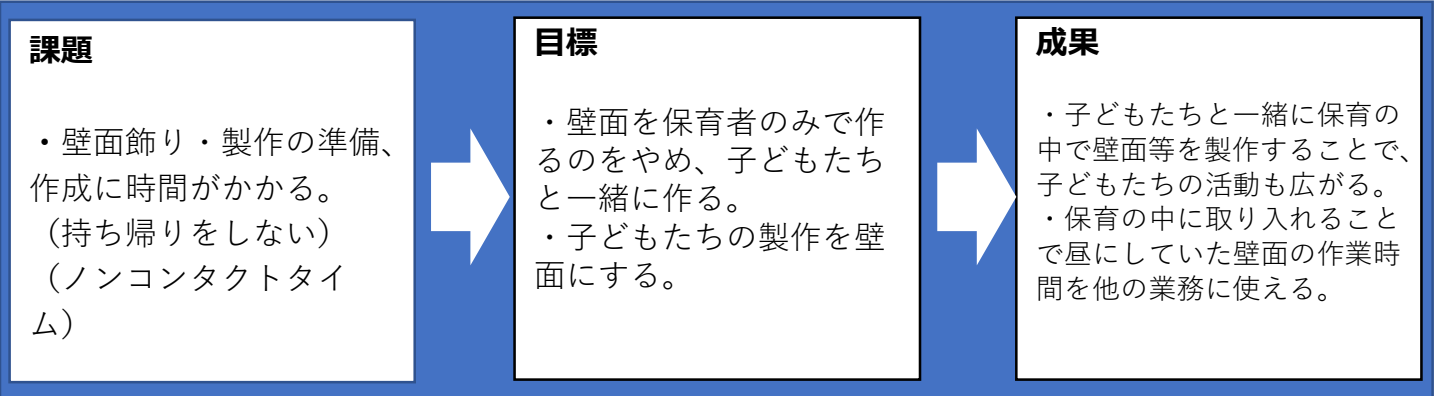


■サマリー



課題の意図・詳細説明

- ・壁面飾り等、すべて保育者のみで作成していた。
- ・午睡時に作成していたが、業務は壁面作成だけでなく、子どもたちの製作（製作帳）の準備、書類作成などもあるため、時間も日数もかかる。
- ・仕事の持ち帰りをしない
- ・ノンコンタクトタイム（40分）の実施

目標の意図

- ・壁面飾り・行事等の製作物を保育の中で子どもたちと一緒に作ることで、保育の質の向上につながる。
- ・保育の中に取り入れたことで、午睡時に保育者のみでしていた壁面飾りの時間を他の業務に使える。
- ・業務の重複が減り、間に合わず持ち帰るということもなくなる。
- ・仕事が進まない、間に合わないなど気にせずノンコンタクトタイムも十分にとれる。

具体的な取り組み 12月

- <壁面飾り>
- ・11月に2歳児クラスで公開保育を実施（職員間で内容を話し合い）
 - ・クリスマスのオーナメントを作り、壁面飾りにすることに決定する。クリスマス会も実施する。
 - ・2歳児なので土台は保育者が作る。（サンタ・トナカイ・ソリ・プレゼント・雪だるま）
 - ・子どもたちはお花紙を丸め土台に貼る。
 - ・公開保育でオーナメントを作った後も子どもたちとクリスマス会の準備を進めていった。
 - ・クリスマス会がかぶる帽子、飾りつけを風船でしようという案が出た。（保育者）
 - ・土台づくりは保育者、子どもたちはシールを貼っていく。
 - ・飾りつけも一緒に行う。



※1月の壁面飾りは一緒にできなかったため保育者のみで作成

具体的な取り組み 1月

<製作物の作成>

- ・ 2月の節分に向け製作物を作る（職員間で内容を話し合い）
- ・ 鬼が島・鬼を作ることに決定する。
- ・ 土台は保育者が作る。
- ・ 子どもたちは新聞紙を丸める。折り紙をちぎる。
- ・ 一緒に土台に貼り付けていく。



<壁面飾り>

- ・ 参観日が2月にあるため、子どもたちの製作を壁面飾りにすることに決定する。
 - ・ 梅・鶯に決定
 - ・ 土台・パーツは保育者が作る。
- ※2月に続く

具体的な取り組み 2月

<壁面飾り>

子ども

- ・ 土台にちぎった色紙を木に見立て貼っていく。
- ・ 鶯に目と模様を描く。
- ・ 梅の花にポンポン筆で色を付ける。
- ・ すべてのパーツを土台に貼る。



<まとめ>

今回、園全体では取り組めず2歳児クラスのみで実施したが、壁面を子どもたちと保育の中で一緒に作ることで昼に壁面飾りに時間を取ることが減り、他の業務に時間を取ることが出来た。仕事を持ち帰ることもほぼなく保育の時間、午睡の時間を有効に使えたと思う。また子どもたちが一緒にすることでクリスマス、節分などの行事をより知り、触れることが出来たと思う。未満児クラスは保育者がすることがほとんどだが、子どもたちが一緒に取り組むことで、活動の幅も広がり保育の質も向上していくのではないかと感じた。小さいながらも自分たちが一緒に作ったものや自分の作品が飾られることをとても喜び、保育者のみで作った壁面より反応がよく嬉しそうにする様子も見られた。今後、他クラスでの実施も進めていきたいと思う。